



つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL.0957(52)3210

「コロナ禍」での「後期」がスタート！ ～建学の精神を胸に～

10月5日（月）から後期が始まりました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の兆候は衰えません。私達は、今まで経験したことがない生活環境にありますが、皆で協力して根気強く防止対策に取り組み、今自分がやるべき事を冷静に考えて生活する事が大切です。この記事は、向陽の前身である「大村女子職業学校」の生徒が学徒として動員し、昭和19年10月25日の大村大空襲で若き命を失いました。その合同慰霊祭（昭和55年10月26日大村慰霊塔公園）での、学徒報告隊代表として戦禍を共にした卒業生野田丸枝（旧姓松田：昭和20年本科第21回卒）さんの慰霊の言葉です。



慰霊のことば

動員生活も六ヶ月目となり
やっと仕事になれ、充実した毎日を送っておりました矢先、昭和19年10月25日の大空襲は突如として私達の運命の転機をもたらしたのでありました。数時間に及ぶB29の波状攻撃もやっとおさまリ、部品工場の私達は友の無事を確かめ合い手を取り合っうれし涙を流

しましたが、後になって機械工場の小川良子さん、向井美子さん、下級生の平湯辰枝さん、松尾恵美さんの四名の方々が亡くなりになられた事の報せに皆茫然として悲しみの涙を新たにいたしました。

共に語り合い将来を夢見ていた友を亡くした悲しみ。悔しさを30数年を経た今日でも忘れることなく、一人で涙しております。当時のこの思いは何時までも私達の胸に残っております。貴女方をいつくしみお育てになられましたご両親様の胸の中に想いをはせます時、子を持つ身になった今、しみじみとその悲しみが如何に深いものであったかを知ることが出来ました。貴女方の尊い犠牲の上に私達は人生の半ばすぎ幸せな毎日を送らせて頂いております。その尊い死を無駄にしないよう目まぐるしい世界情勢の中、声を大にして平和を訴え続け余生を意義深く送りたいと思っております。この緑豊かな思い出の地大村で安らかにお眠りくださいませ。

「積雲を つと光り去る銀翼に
身構えることもなき 今日の平和を」

（昭和56年3月向陽新聞第59号より一部抜粋）

応援しています！

大村市とピッコロピアットが協力

向陽学園が運営し、向陽高校の調理科とパティシエ科の実習施設としても使用している、【イタリアンレストラン・ピッコロピアット】が、地域を盛り上げる取組みとして、大村市産業振興部農林水産振興課の方々と協力し、大村市が管轄の漁業共同組合から仕入れた、新鮮で旬な魚介類を使った料理を提供しています。

これらの料理は、それぞれの旬の時期に提供されています。そして、これからも大村湾で漁獲された、旬の食材を使った料理を提供して参ります。

こういった取り組みを通して、この大村の活性化と、漁業に携わる方々を応援していきたいと思ひます。



ピッコロピアット

ジャコとブロッコリーの
クリームパスタ

スミイカのフライ イタリア風



スズキのソテー白ワインソース

いま高校では!

後期の始まり! 自己の目標に挑戦!!



KOYO
向陽学園

美容科 ● エステティック科 ● 保育科 ● 福祉科 ● 調理科 ● パティシエ科 ● 看護科

向陽高等学校
入試説明会

第1回 10.10 SAT
第2回 10.24 SAT
第3回 11.8 SUN

会場/向陽高等学校 ● 時間/9:20~12:05 (受付:9:00~9:20)

対象 中学3年生及び保護者1名のみ

CATCH YOUR DREAMS

実際に学校の様子が見られる絶好の機会。

【福祉科】

- ・介護実習
- ・介護実習報告会
- ・長崎県高校生福祉体験発表
- ・介護福祉士国家試験 等

【美容科】

- ・スクーリング
- ・サロン実習
- ・美容師国家試験 等

【保育科】

- ・幼稚園交流会
- ・幼稚園実習
- ・救急救命講習会 等

【調理科】

- ・すし発表会
- ・食事作法講習会
- ・食育王選手権
- ・職場体験
- ・ブッフェパーティー 等

【エステティック科】

- ・サロン実習
- ・ホスピタリティー検定
- ・ネイリスト検定
- ・メイク検定
- ・AEA上級認定試験
- ・ブライダルプランナー検定
- ・シニア検定 等

【パティシエ科】

- ・職場体験
- ・全国高校生パンコンテスト
- ・製菓衛生師国家試験 等

【看護科】

- ・臨地実習
- ・戴帽式・専攻科説明会
- ・看護技術コンテスト
- ・日本赤十字社看護技術講習会
- ・専攻科と交流会 等

※学校行事や各科行事は内容や予定が変更される事があります。

※10月16日(金)就職試験開始。

※10月28日長崎県戦没者追悼式(本校生徒1名参加)。

KOYOファイト!

こようようちえん

「明るく なかよく 元気よく」



園庭で「Kスポーツ」!

- ・いもほり遠足
- ・公園遠足
- ・おちばひろい等

これからも楽しい行事がいっぱいです。

長崎リハビリテーション学院

“挑戦と変化”で次代の人材を育てる

8週間の臨床実習が終わりました。

これから国家試験に向けて頑張ります(3年生)。

※オープンキャンパス参加
ありがとうございました。

<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

「コロナ禍」に生きる 烏山 陽子 向陽学園図書館長

エディス・エバ・エガーはスロバキア生まれのユダヤ系アメリカ人で、現在九十三歳のベストセラー作家です。また、彼女は心理学博士でもあり、第二次世界大戦のナチスによるユダヤ人大虐殺の舞台となったアウシュヴィッツ

収容所からの生還者でもあります。先日、彼女のインタビューを聞きました。番組の中で、「コロナ禍の不安な情勢を生き抜くヒントとは」と尋ねられると、彼女はその壮絶な人生経験で自ら学んだ教訓を語っていました。

「収容所に向かう家畜車の中で、母はこう言ったの。『これから何が起ころのか全くわからない。でも、全てを奪われたとしても、あなたが(頭の中で)考えることだけは誰にも奪えないのよ』と」

その後、彼女の両親はガス室へ送られ、彼女は文字通り全てを奪われてしまいます。しかし彼女は、母親の言葉通り、唯一奪われない物、つまり、自分の思考だけは守り抜いたのです。

「どんな状況も一時的なものです。その中であなたがどう考えて行動するのが重要なのです。」

この時代を生きる全ての人々に向けた渾身のメッセージです。



C.L.Fons図書館